

「Ohne Titel」

基礎教育 田中康二郎 Kojiro Tanaka



『空展』2017年
天王洲セントラルタワー・アートホール
2017.7.24～8.18

『経験と表現』

生きているすべてのものは周囲の世界を意識的あるいは無意識的に経験し、それは感性的・心的・精神的な現実経験でもあり得る。この経験が外へ向けて反応を起こす(能動的である)とき、その内容を現実的な形で具現化したい(造形したい)という衝動が現れる。反応を起こさない(受動的な)経験がもたらすものは、その経験対象の反復あるいは重複となる。芸術家の能動的な経験は美的な内容を持ち、その経験の表現もそれに応じた内容を持つ。

彫刻家は自身の美的経験を量=ヴォリューム(能動的)と空間(受動的)との関係によって表現する。作曲家は自身の美的な経験を音響(能動的)と非音=時間(受動的)との関係により表現する。諸芸術の表現手段はそれらの関係を美的観点から対比し、配列することともいえる。

この2作品は、形態と空間との関係(凸凹)を対比し、そこに現れる相互作用を表現したものである。



Ohne Titel '04-Nr.3 黒御影石、銅



Ohne Titel '13-Nr.5 黒御影石、銅



1979年東京芸術大学大学院美術研究科終了、同大学非常勤講師を経て83年ドイツ政府給費留学、86年帰国し、慶應義塾高校に教諭として勤務後98年文部省教科書調査官就任、2015年東京工芸大学教授就任。石材を中心に彫刻制作を行い、国内外の彫刻シンポジウムに参加。個展、グループ展を中心に発表活動を行う。